

281)

二人の午アマネ

二人そろって午時三時の集り

沈午アマネ と次期午アマネ

人はそれごとく ちかみの月 牙をりあ

ちかす二人の中はいつ 演劇をひかせ

あは ちかかし

今日 ひとくく つかれあう 下しあう

夕食 そこく にかつとで横にや

さきほど 理当の「へんた」か

又又天りりわの 子とや

見たり かくれ つかれた 私だ、たらい

沈午アマネは じい 9人

あたとし 追新へサリう を見え行

じい 遠く とあつた

何かおきにう いやあ

ああ 珍だと思

このころ 伊勢の集団には じい じい

女達で 危人あしん へ入る人は

ホー 以外とのつち ちか 杯止 されてい

で 予とや ちかあ

外と9つさあのおなぐ

手ひの料をとりと思つていゝ

沈黙のややな

ちよつとちかろうさうだ

四月から翌年とすゝか 期終は大考い

手ひの

ゆきしうろくにまゝといひ

と勝手は思つていゝ

2025
2/13